



弓道・山本邦秀さん 優秀賞



6月21日、香美市体育協会総会で、同協会に顕著な功績のあった山本邦秀さんが表彰されました。山本邦秀さんは、県立弓道場で開催された第16回西四国弓道錬成大会で優勝されました。この功績を称え優秀賞が贈られました。

剣道・三谷義守さん 功労賞

6月13日、平成25年度香美市スポーツ少年団連絡協議会功労賞の表彰式が行われました。養心館道場青雲会で、22年にわたり剣道の振興・指導に努めてこられた三谷義守さんが表彰されました。表彰式では、日頃の感謝を含め、道場生の島田優輝さんと谷涼香さんから花束も贈呈されました。



▲花束を受け取った三谷さん(写真右)

姉妹都市交流だより

北の大地で絆の踊り



▲札幌市内で踊る香美市の踊り子

第23回YOSAKOIソーラン祭りが6月4日から5日間、札幌市で開催され、大勢の観客でにぎわいました。今年は、踊り子隊と訪問団総勢35人が参加し、姉妹都市積丹町と20年連続でヤーレンソーラン積丹町&香美市※を結成し、参加しました。一行は、6日に積丹町に着き、合同練習を行いました。7・8日の両日は、大通公園をはじめとする札幌市内の会場で練り広げられた本祭に参加し、合同チームは6会場で、高知県のよさこい鳴子踊りと積丹町発祥の民謡ソーラン節を融合させた楽曲によって、笑顔と掛け声で元気よく踊り、大きな拍手と声援をいただきました。※香美市27人・積丹町41人の総勢68人の踊り子隊が参加。



香美市の味覚北海道へ

香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会(西山武会長)が主体となり、毎年行われている積丹町への訪問・交流事業(6月28~30日)で、11人の訪問団が積丹町を訪れました。札幌市内からも多くの観光客が訪れる味覚祭りには、今年で18回目の参加となりました。とれたてのウニ・エビなどが入った直径1.5mの大鍋で作る浜鍋など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しめるお祭りや、夜間は納涼祭や打ち上げ花火が行われるなど大変な盛り上がりとなりました。訪問団は、会場で香美市の地場産品である土佐打刃物や、ユズの関連商品を販売したほか、高知県の味覚を代表する鰹のたたきを販売し、客足が途絶えないほどの盛況ぶりでした。



森の音楽会

6月22日、土佐山田町大平の県立森林総合センター情報交流館で、森の音楽会が開催されました。これは情報交流館が主催したもので、高知工科大学のJAZZ研究会などが出演しました。ジブリなどのおなじみの曲から、クラシックやジャズまで、多彩な曲目であたたかい音色を響かせていました。当日は親子連れがたくさん訪れ、子どもたちは情報交流館にある木のおもちゃで遊びながら、森の音楽会を楽しんでいました。

土佐山田町内一斉清掃

6月1日、土佐山田町内で一斉清掃が行われ、早朝から各地域では、側溝の泥上げや樹木の枝打ちが行われました。市職員約170人が、回収作業にあたり、約85tの泥・樹木が回収されました。回収には、市内業者からトラックと運転手の協力がありました。同日、香美市国際交流協会の主催により、高知工科大学の留学生21人が、物部川堤防沿いを中心にゴミ拾いを行いました。空き缶やペットボトルなど、軽トラック半車分のゴミが集まりました。▲留学生が道をきれいに



▲留学生が道をきれいに

◆◆◆ご協力ありがとうございました◆◆◆
南福永建設・カミケン工業㈱・南佐々木建設・南依光建興・南かがみ建設・南中山建設工業・黒岩工業㈱・南戸梶開発・南近藤工務店・山香水道・南高知ガーデン土木・福井総合建築・岩井マーブル工業・南四電工山田営業所・南石丸建材店・南矢野工業



繁藤慰霊祭

7月5日、第43回繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭が、哀悼の広場(土佐山田町角茂谷)で執り行われました。慰霊祭に先立ち、香長小学校の児童と鏡野中学校の生徒が、自分たちで折った千羽鶴を供え、黙とうをささげました。慰霊祭には、遺族や関係者ら約120名が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。繁藤災害は昭和47年7月5日、豪雨により追廻山が崩壊し、消防団員1名が生き埋めになり、救助活動中に大きな山崩れが発生し、新改川で流され亡くなった1名とあわせ、61名が犠牲になった大災害です。



社会を明るくする運動

7月の第64回社会を明るくする運動強調月間にあわせて、7月1日に土佐山田町の八王子宮境内で同運動推進委員会主催による決起集會が開かれ、市内の各種団体や企業などから約270人が参加しました。この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集會終了後には、県警音楽隊を先頭にパレードや、広報車の巡回などが行われ、運動への理解を呼びかけました。